

学校応援プロジェクト 2020 年度

中央大学附属中学校 進路学習プロジェクト

2021年2月24日（水）、中央大学附属中学校3年生を対象とした進路学習プロジェクトを実施しました。学校応援プロジェクトからは、キャリア教育プロジェクトのメンバーを中心に、様々なプロジェクトから19名が参加しました。メンバーの学部は7学部、学年も1年生から4年生までと様々です。

例年であれば、附属中学校の生徒は大学のキャンパスを見学する機会がありますが、今年度は感染症拡大の影響で実施ができませんでした。少しでも大学をイメージする機会を設けたいということで、年齢が近い大学生との対話をメインとするプロジェクトを実施することとなりました。



第一部は、プロジェクトメンバーによる中央大学紹介プレゼンからスタートです。

どのような学部があるのか、名前の似た学部・学科との違いは何か、ということ、中学生にもわかりやすいような表現で説明していきます。あわせて、「大学生活」を具体的にイメージできるように、キャンパス内の施設紹介にも力を入れました。図書館、学食等、学生がよく使う施設を中心に、写真を豊富に使用したパワーポイントを用いながら紹介していきます。

オープンキャンパスや受験生向けのいわゆる「学部紹介」ではなく、中学生にも各学部でどんなことを学ぶのか、と具体的にイメージできるような内容・ビジュアルにしつつ、20分以内で説明ができるものを・・・等、様々な工夫を行い、ミーティングを重ねながら練り上げました。

それを、プロジェクトの精鋭メンバー達が、数回のリハーサルを行ってプレゼンしたということもあり、生徒達はとても真剣かつ熱心に聞いていました。



10分間の休憩時間を挟んだ後の第二部は、生徒4～5名程度の班に1名のプロジェクトメンバーが入っての質問・お話タイムです。20分経つと、プロジェクトメンバーが交代し、異なる学部・学年の大学生から話が聞けるよう配慮しました。

生徒達には事前に大学や大学生活についてどんなことを知りたいか、アンケートに答えてもらっていました。「ゼミってどんなことをするんですか」「試験前はどのくらい勉強しますか」「どんなサークルが人気ですか」「一人暮らしってどうですか」等、大学生活のさまざまなことに関する質問が寄せられました。その質問をもとに、それぞれの班の生徒がどんなことに関心があるかを把握したうえでプロジェクトメンバーを配置することで、「それはわ



かんないなー」という状況が極力発生しないようになっています。この点も、事前の企画内容検討にあたってプロジェクトメンバーみんなでアイデアを出し合い、工夫したことです。



質問タイムがはじまると…最初は緊張してなかなか会話が弾みません。プロジェクトメンバーは、どうにか反応を引き出そうと必死です。「私は中学・高校の頃は〇〇になりたくて大学や学部を選んだんだけどね・・・」「さっきの説明、どうだった？」等、中学生にも関心をもってもらえそうな話題を振りながら、少しずつ会話をはじめていきます。

「授業と授業の間は何をしていますか？」「大学の時間割はその人によって違うし、教室も違うから、まずは教室の移動かな。エレベーターが混んでいるときは 2 階から 7 階までかけあがることもあるし、体育館で体育実技だと歩いて 10 分以上！」「えー！そんなに遠いんですか！？」…すこずつ緊張がほぐれだすと、あちこちで笑い声もあがりはじめます。

時には、「おすすめのサークルはありますか？」「どんなお酒が好きですか？」というような脱線気味の質問も飛び出します。「素の自分」で回答したくなるのをグッとこらえ、「大学生だけれども先生に近い立場」を念頭に回答していくのは、特に教育実習を控えた 3 年生にとって貴重な実践練習となりました。

質問タイム終了の時間になると、「ありがとうございました！」という明るい声、「あー面白かった！」と話しながら教室を移動する生徒達…あつという間の楽しい時間だったようです。

今回のプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下での実施となりました。プロジェクトの企画検討や打ち合わせはオンライン会議をフル活用し、当日初めて顔を合わせるメンバーも多くいました。また、当日の質問タイムは近距離での会話となるため、生徒・プロジェクトメンバーはともにマスクとフェイスシールドをつけた実施となりました。

様々な制約はありましたが、中学 3 年生には貴重な、そして楽しい経験になったようです。終了後のアンケートには、「大学生という話ができて楽しかった！」「自分は〇学部がいいかなと漠然と思っていたが、今日の話聞いて△学部や□学部もいいなと思った」「次はオープンキャンパスに行きたい」など、うれしいコメントがぎゅぎゅと書かれていました。「今日の進路学習は満足できましたか」には、① 満足 84.6%、② どちらかといえば満足 14.8% の回答を得て、肯定的な回答（①+②）は何と 99.4% の高評価となりました。中学生のみなさんにとって実りのある進路学習となったことがなによりです。

中学生が自分の将来について考えるきっかけとなるような、「大学生っていいな」と感じてもらえるような企画をめざした今回のプロジェクト。終了後はしゃべりすぎて疲れ果てていたメンバーも少なくありませんでしたが、多くの笑顔に接することができ、プロジェクトメンバーにとっても充実した一日となりました。

